



令和 8 年 1 月 2 0 日
九州地方整備局

水防功労者国土交通大臣表彰受賞者決定!

～令和7年度の表彰者が熊本県と鹿児島県から選出されました～

洪水等の際して水防活動に従事し、著しい功労があると認められた団体と個人が水防功労者として国土交通大臣から表彰されます。

※水防功労者国土交通大臣表彰は水防管理者の所管の下に水防に従事し、当該水防に著しい功績のあった団体又は個人を表彰する制度で、昭和26年より実施しています。

1. 九州地方の受賞者及び功績概要（詳細は別紙をご参照ください）

団 体 3 団体（令和7年8月豪雨の水防対応に顕著な功績があった団体）

熊本県 玉名市消防団

熊本県 熊本市消防団

鹿児島県 霧島市消防団

※全国の表彰者数：【団体】3 団体 【個人】18 名

2. 表彰式

（1）日時：令和8年1月27日（火） 14時00分～14時30分

（2）場所：国土交通省10階共用会議室

（東京都千代田区霞が関2-1-3）

3. お問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 河川部 水災害予報センター

水災害予報センター長：田島 二仁

水災害対策専門官：井手 勲

TEL：092-471-6331（代表）

TEL：092-707-0110（直通）

功 績 概 要

団体〔水防活動に従事した功績〕

受 賞 団 体	<p>たまなし 玉名市消防団</p> <p>(熊本県玉名市)</p> <p>団 長 池田 篤治</p>
功績の概要	<p>同消防団は、8月10日からの大雨において、3日間にわたり、延べ544名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、河川越水等に伴う道路冠水の通行止め、避難誘導を行い、人的被害を未然に防いだ。また、冠水に伴い、孤立した住宅からボートでの救出を行った。この他、冠水による孤立住宅の解消のため、消防用のポンプ11台を活用し、排水作業を行い、1人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

団体〔水防活動に従事した功績〕

受 賞 団 体	<p>くまもとし 熊本市消防団</p> <p>(熊本県熊本市)</p> <p>団 長 中口 優</p>
功績の概要	<p>同消防団は、8月10日からの大雨に際し、8月10日から11日にかけて延べ96ヶ分団471名が出動した。各地において越水により床上浸水等の被害を受ける危険な状況の中、昼夜にわたり、巡回警戒広報、住民の避難誘導、ポンプによる排水作業、ボートによる人命救助等を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体〔水防活動に従事した功績〕

受賞団体	<p>きりしまし 霧島市消防団</p> <p>(鹿児島県霧島市)</p> <p>団 長 東郷 喜八</p>
功績の概要	<p>同消防団は、8月7日から8日にかけての大雨災害において、延べ378名が出動し、危険な状況の中、巡回警戒、人命救助等を行い、人的被害の軽減のため活動した。</p> <p>8月8日午前6時頃、隼人方面隊日当山第二分団姫城部の消防団員4名が、地域を巡回警備中、水没している軽車両の車内に要救助者を発見し、胸部付近まで水があがってきている中、歩いて車両まで接近し、取り残されていた男性1名を車外に救出した。</p>